

八代市内ある家の昭和30年頃の米作り



ここのお家の田んぼは、2町2反。博物館のしき地の約2.6倍の広さだよ。作業はまず、田植えの日を決めてそれより前の作業のスケジュールを決めたよ。同じ場所でお米を作ってもその年の天気や植えるお米の種類によっても日にちが違ってくるんだって。

ここの家では、お米の後に麦を作ったんだって。イネをかってしまうとすぐ麦作りの用意をしなくちゃいけないから大変だ。



6月初め

7月7、8日ころ

おぼん(8/15)ころ

10月10日ころ

10月下じゅん

10月下じゅん～11月初め

たねまきしてから一ヶ月くらいしたらいいよ田植え。前日になえどこからなえを取る。

なえどこ作り

たねまき

なえ取り

1日でおわるように近所の人ときょう力あってする。どこの家を先にするかはクジで決める。

田植えして10日くらいたつともう草がはえてくる。おぼんの頃まで草取りが続く。

かり取ったイネは、そのまま田んぼに広げて天気の良い時は3日ほど干した。

だっこくをした後、とうみでモミとゴミに分けるのは、夜おそくまでかかる仕事だった。

モミすりは共同で行ったりした。選別の道具は近所の人といっしょに買って使った。

田 植 え

田の
かんり

イネかり

だっこく

モミすり

田植えの日までに、田起こし、ひりょうやり(もごえ)、しろかきをしておく。約一週間かかる。



がい虫をやっつけたり、田んぼの色を見てひりょうをやったりする。



天気の良い時で2日間、モミを干す。



「だっこく」とは、イネからモミをはずすことだよ

「モミすり」とは、モミがらをはずして玄米(げんまい)にすることだよ

11月18日(みょうけんさい)ころ

たわらにつめる。



農作業の様子を写した写真3点は麦島勝さんが撮影したものです。

しろかきの時に田んぼに水を入れる。その後は、イネの育ち具合を見て水を多くしたり少なくしたり調整する。イネ刈りの一週間～10日位前には水をぬいてしまう。

今みたいにべりなきかいがなかったころはどんな道具を使っていたんだろうね。写真と同じ道具はどこにてんじしてあるかな？

